

令和3年度第6回朝倉市復興推進委員会 議事要旨

1) 日時

令和4年3月23日（水） 10:00～11:15

2) 場所

旧甘木・朝倉市町村会館 大会議室

3) 参加者

別紙参照：第6回朝倉市復興推進委員会 配席表

4) 式次第

1. 開会
2. 市長挨拶

本日は第6回朝倉市復興推進委員会に、公私共にお忙しい中にご出席いただき感謝申し上げます。

未曾有の被害をもたらした平成29年7月九州北部豪雨災害から、あと3か月あまりで5年がたつところである。

私は、就任当初から、「ふるさとあさくらを取り戻す」の理念のもと、復旧・復興に全力で取り組んでいる。

そして、国、県、市が一体となって、全力を注ぎ、災害復旧に努めている。

このお陰もあり、昨年末には4年もの長きにわたった乙石区と黒松区の長期避難を解除することができた。

市の災害復旧事業や関連事業は、今年度末には、予算ベースで75%の完了を見込めるまでになった。

関係機関はもとより、地域住民をはじめ関係する皆様に対し、深く感謝申し上げます。

さらには、この災害を契機に、防災拠点などの整備をはじめ、地域防災力の強化に努め、つよい朝倉をつくっていかねばならない。

生活再建支援については、見通しの立たない方も少なくはなったものの、今後も最後のお一人までフォローアップをしっかりと行っていく。

本日は、「生活再建の取り組み」「災害復旧事業の取り組み」「復興実施計画の更新」について、ご議論いただく。

特に「復興実施計画の更新」については、昨年策定した実施計画について、関係地域や関係機関等と協議を重ね、決定した施策や事業を反映させた。

その内容についてを中心に、本日はご議論いただくことをお願いする。

あわせて、この場をお借りして申し上げます。

感染拡大が続くコロナ禍の中、朝倉市においても、オミクロン株の感染が多数あったものの、小康状態に向かいつつある。

しかし、予断を許さない状況に変わりはなく、本日のこの会議においても、当初予定していた市職員そして関係機関の出席を最小限にさせていただいた。
今後も、感染拡大の防止に最善を尽くしていく。

あらためて、皆様の活発な意見をお願いしまして、あいさつとする。

3. 新委員紹介

- ・新委員は以下の通り。
朝倉市小学校PTA連合会 林 千晴氏

4. 議事

- ・市（事務局）より(1)～(3)を説明
 - (1) 生活再建の取組み
 - (2) 災害復旧事業の取組み
 - (3) 復興の取組み…復興実施計画の更新
 - (4) その他

5) 議事要旨

【質疑応答】

(1)生活再建の取組みについて

- ・特になし

(2)災害復旧事業の取組みについて

- ・特になし

(3)復興の取組み…復興実施計画の更新

(委員) 資料 33P 宅地浸水対策促進事業、宅地嵩上げ例、C(浸水防止板設置工事)が非常に効果的である。

A(宅地嵩上げ工事)、B(浸水防止堀設置工事)、C(浸水防止板設置工事)合わせて13件、効果は大きいのにまだ少ない。

自分は比良松だが、約80戸の内40戸程が被災した。

我が家にも濁流が押し寄せたが、倉庫にあった戸板を玄関前に置いて対応した。

戸板なので完全に防ぐことはできないが、見事に濁流をブロックしてくれた。無ければ床上浸水必須だった。

水害の後、地区内の被災家屋を回ったが40戸程被災したうち戸板を立てていれば5戸ぐらいは助かったのではと思う。濁流だけでなく内水氾濫にも効果がある。

広報紙にも紹介されていたが、まだまだ皆さんの認識が足りない。

鉄工所で鉄板を切ってもらって L 字にしてブロックを置くだけでも効果が高い。この事業を長く続けてもらいたい。

(復興推進室) 今後も PR 活動に努めていく。より容易に作れないか調査研究していく。

(4)その他

(委員) 推進委員会に 1 回目から参加しているが、進捗状況を聞いて、国県市が協力してこれだけのことをやり遂げていることに感心している。

復興実施計画の 143 p からの一覧、工事中、完了が進んでいる。

一人も残さず取り組んでいる生活再建においても、災害復旧の取組みについても、進んでいることに感心している。

(復興推進室) 温かいご意見をいただきありがとうございます。

関係機関の皆さん、地域の皆さん、コミュニティをはじめ関係者の皆さんと毎日毎夜、皆さんと話をし計画を作り上げた。

5 年をかけてここまでもってきたのは地域の皆さん、コミュニティの会長さん、関係機関の皆さんが一体となった成果であると思っている。